

このたびの東日本大震災により亡くなられた方々に心からお悔やみを申し上げ、被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と、被災された地域の方々のご健康を心よりお祈り申し上げます。

Rainbow Times

第5回子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー

2011年10月30日(日)開催!

2007年に子ども虐待防止の啓発活動として「子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー」が開催されてから、今年で5回目を迎えます。今回は、湘南コース・東京コース・鎌倉三浦コースの3コースを、各区約10人ずつ、計約300名のランナーが、子ども虐待防止の象徴カラーである**オレンジのたすき**をかけてリレーでつなぎ、山下公園へのゴールを目指します。今年が目玉の1つは、鎌倉・三浦コースを新設し、鎌倉大仏像(高德院)からスタートすることです!また、湘南コースでは、新たに平塚競技場を中継点にし、視覚障害の方と一緒に走るコースを設定しました。さらに、ゴール地点では、震災復興を願うブースを設け、手作りのキルトに来場者からのメッセージを頂きながら、そのキルトをつなげて特大のたすきを作成していきます。その他、ボランティアの方による手作りのオレンジリボンを市民に配布したり、音楽、ダンス、太鼓、パントマイムなどキャンペーンを行ったりなど、広く一般市民に子ども虐待防止を訴えていきます。渋谷の八チ公横の電車、通称青ガエルやマークシティの中でも、前後2週間にわたって子ども虐待防止の啓発展示をします!

このたすきリレーは、児童福祉に関連する方たちだけでなく、企業、学生、民生児童委員など地域の方など、多くの方々のご協力のもと実施されています。年々その輪が広まり、このたすきリレーに携わる方も増えてきました。少しずつ子ども虐待防止にむけた意識が社会全体で高まっているのではないのでしょうか! (南山)



アメリカ: こどもの肥満は虐待か - その犯罪性の論議と要支援の声 -

アメリカでは、テキサス、ペンシルベニア、ニューヨーク、ニューメキシコ、インディアナ、アイオワの6州において、肥満は『虐待(ネグレクト)』、カリフォルニア州においては『犯罪』と認識されています。肥満により死亡に至った裁判事例が発端となり、それぞれ州法(もしくは条例)が定められたようです。

アメリカ、サウスカロライナ州で話題となった裁判事例を紹介します。2009年6月、14歳で252kgにまでなった少年の母親が、ネグレクトで逮捕されました。母親は、学校での買い食いが原因であると訴えましたが、裁判所は犯罪性のあるネグレクトと判決を下し、少年は里親委託され、母親は親権喪失となりました。

JAMA(アメリカの主要な医学雑誌の一つ)の7月号に、肥満児のいる家庭への介入を促す内容の、医師と弁護士によるコメントが掲載されました。2010年の統計によると、アメリカでは、肥満児の割合が30%を超える州が12州あり、この論文をきっかけに、より多くの州が、肥満児とその家庭を支援の対象とするようになるのではないかとされています。

アメリカと日本では、肥満の基準は異なりますが、日本では肥満児の割合は現在8-10%と言われています。肥満の背景は様々でケースによって異なりますが、日本でも『病的肥満』が取り上げられる日はくるのでしょうか? (山邊)



昨年のたすきリレーの様子

つながりオレンジの橋



HPに研究報告書をアップしました!

虹センターでは研究事業も行っています。これまで、いくつかの研究報告書についてはHPに載せていたのですが、このたび、平成21年度までの全ての研究報告書を掲載しました! みなさん、ぜひぜひHPに足を運んでご覧ください。虹センターHP トップページ「研究活動・紀要」へGo!



企画・編集室(担当:南山)お気づきの点は下記まで...

〒245-0062 横浜市戸塚区汲沢町983番地 子どもの虹情報研修センター

TEL 045-871-8011 FAX 045-871-8091 Email info@crc-japan.net